



2008 今昔館展示模型



2007 西武庫園地リフォーム



2006 N氏の山荘建設



2004 琵琶湖別荘建設



2003 香住古民家移築



2002 大飯古民家移築



2000 朽木研修所離れ

美杉山荘 建設プロジェクト

大阪工業技術専門学校

バトンタッチ

この山荘は、春に卒業した年代が主力となって昨年秋に上棟しました。当時の1年生が2年生になり工事の主力となって、上棟後の造作工事を継続しています。お手本は、先輩が先に仕上げてくれた部分です。今回の工事参加者は、2年生5名と新入生8名でした。左右対称に3帖間が二つありますので、一方で2年生がお手本を示し、それを参考にもう一方を1年生がチャレンジしていく、というパターンで工事が進み始めています。まだまだ、理解が及ばずとんでもない失敗をやらさず新入生ですが、「見て分らんモンは聞いても分らん」を合言葉に、先輩の仕事をじっくり観察することを意識してほしいものです。



2年生が先行する造作工事。畳寄せや建具枠は、柱や梁などの構造材との取り合いや、ボードや仕上げ板との関係を見越した上で加工や取り付けをします。完成後の姿や加工手順が理解しきれていない1年生には荷の重い作業ですが、チャレンジあるのみです。



電動工具の使い方も先輩から。万一の場合のケガも手道具とは比較になりません。慎重に慎重に。



実習場に比べ、実際の現場では作業環境が大きく異なり、このような窮屈な体勢も時に必要となります。このようなことを前もって察知して、事前に楽な体勢で加工処理できるようになればよいのですが...



参加した1年生の多くが、地下足袋で足元を決めていました。まだまだ技術は幼い彼らですが、カッコウから入るのもありでしょう。また、専門用語を知らない先輩の言っていることもチンプンカンプン、早く慣れましょう。